

幼児の実態

眼鏡を掛けて生活をしている幼児が数名いる。プール活動では、どの幼児も眼鏡を外している。

☆手立て・合理的配慮

- ・ 眼鏡を外して行動しても幼児が安全にプール前のシャワーができるように、段差部分にはっきりと分かる赤色ペンキで印を付ける。



- ・ プールに入るための同じ色の階段の段差を分かりやすくするために赤色で印を付ける。



- ・ 水の中でも階段のある場所や段差が分かるように赤色で印を付ける。

**支援を受けてみて**

- ・ (本人) 赤色に気を付けて動くことができた。
大好きなプール遊びが思い切りできた。
- ・ (保護者) 安心してプール遊びができる。